

## ◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(80歳代男性)あります。症状は意識障害、菌血症、その他(血尿)です。本年の累積報告数は3例となっています。平成25年4月1日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降、平成25年の累積報告数は15例でした。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は7.80(320例)で、前週 8.34(342例)より減少しているものの、例年、ノロウイルス感染を原因とする感染性胃腸炎が冬季に増加し、11月～1月にピークを形成しますので、今後の動向にご注意ください。
- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.27(11例)で、前週 0.78(32例)より大幅に減少したものの、依然として、過去5年平均値を上回っています。今後の動向にご注意ください。

## ◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は10.04(683例)で、前週 3.57(243例)に比べ約2.8倍増加しており、注意報レベルの「10」を上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例(第2週追加分含む)【1月以降の累積報告数3例】
- ・ 五類: ウイルス性肝炎(B型) 1例(平成25年第52週追加分)【平成25年の累積報告数 8例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	10.04	683
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.80	320
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07	44
	③ 水痘	0.51	21
	④ 突発性発しん	0.39	16
	⑤ 咽頭結膜熱	0.27	11
	⑤ 手足口病	0.27	11
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

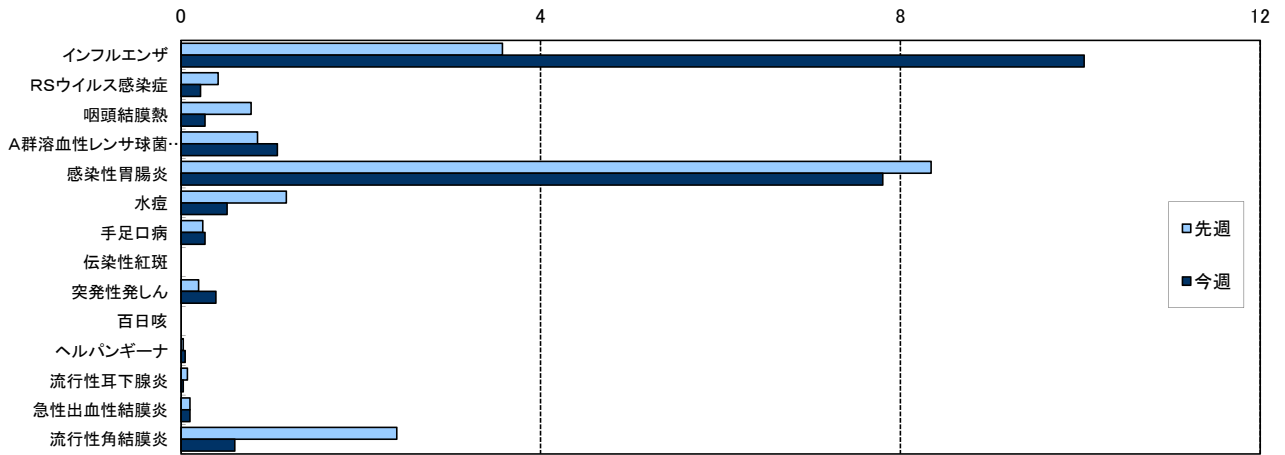
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは、平成26年1月23日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

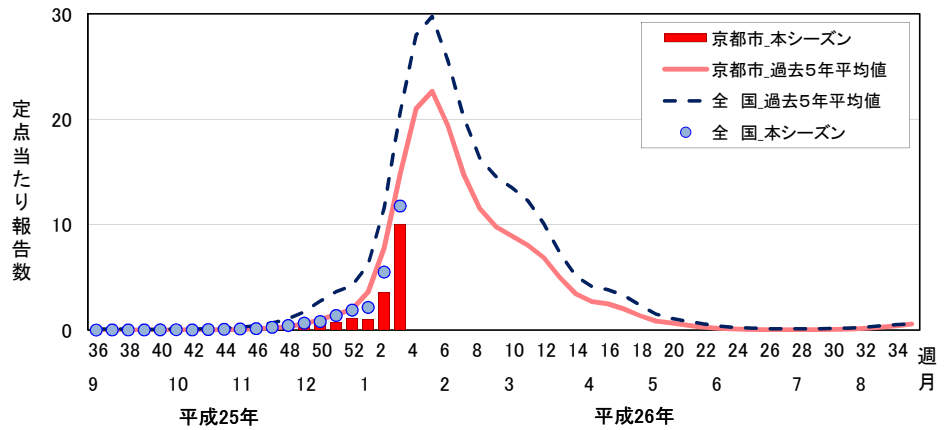
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第3週)と先週(第2週)の定点当たり報告数の比較



## 2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第51週	47
第52週	73
第1週	65
第2週	243
第3週	683
累積報告数 (第36週以降)	1205

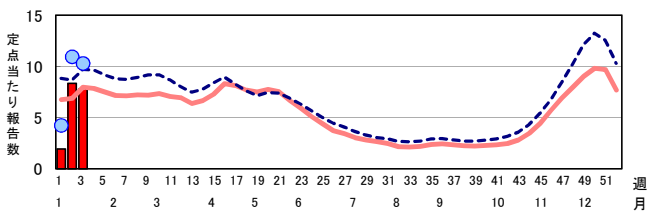


※平成21年/22年シーズンは、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

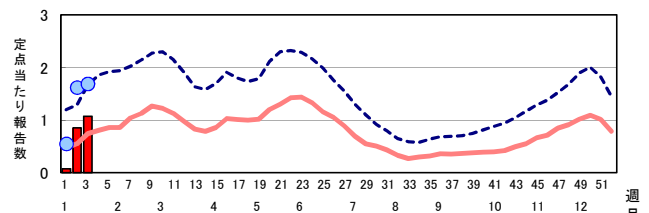
## 3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

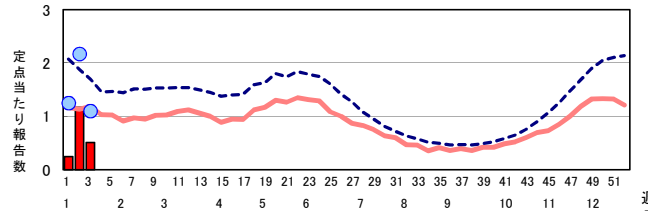
1 感染性胃腸炎



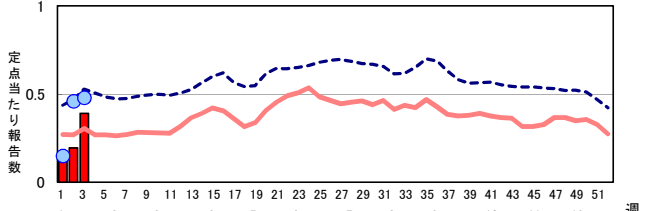
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



3 水痘

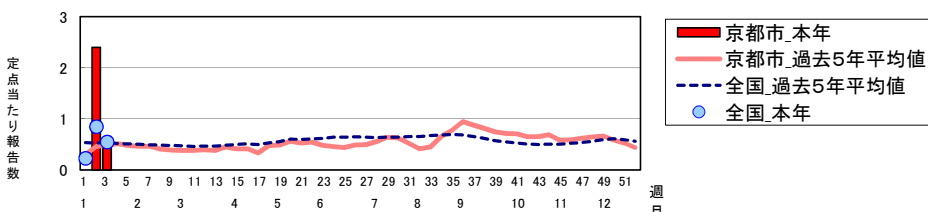


4 突発性発しん



<眼科定点>

流行性角結膜炎



# 第3週(1月13日～1月19日)トピックス: <インフルエンザ>

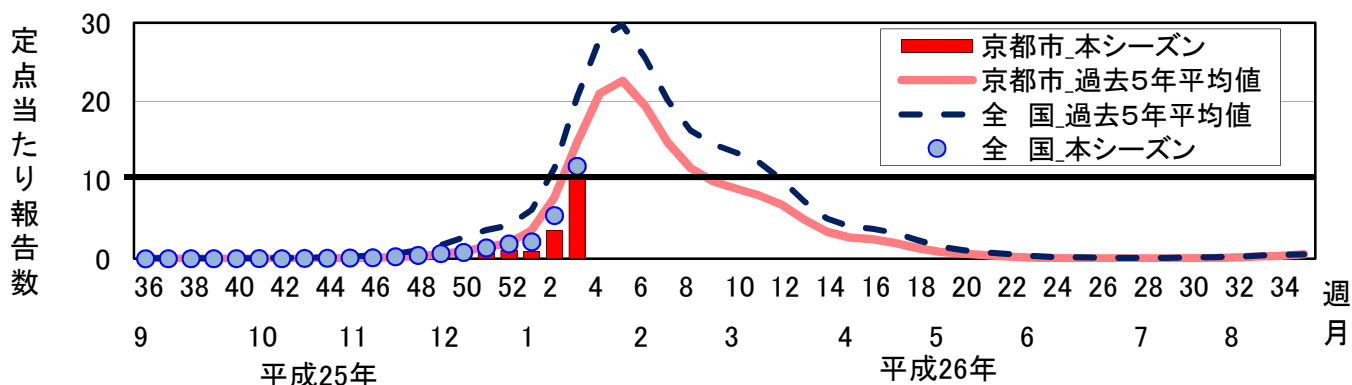
インフルエンザの定点当たり報告数は10.04(683例)で、前週 3.57(243例)に比べ約2.8倍増加しており、注意報レベルの「10」を上回っています。全国でも同様に、第3週(11.78)に注意報レベルの「10」を上回りました。今後の動向にご注意ください。

都道府県別では、すべての都道府県で前週より増加しており、30都道府県で定点当たり報告数が、注意報レベルの「10」を上回っています。近畿6府県では、すべての府県で定点当たり報告数が「10」を超えています。

京都市衛生環境研究所では、今シーズンに、AH1pdm09が8例、AH3型が1例、B型が3例、分離・検出されています。

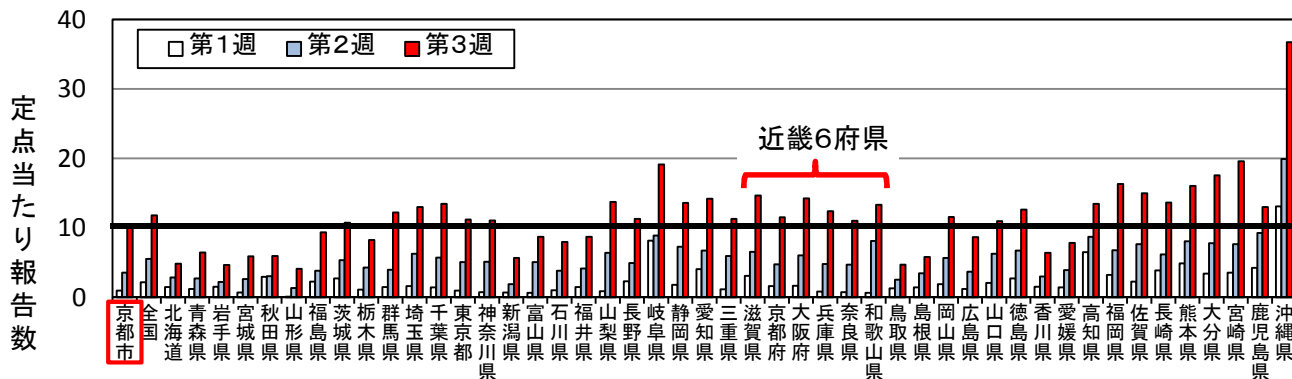
なお、全国のインフルエンザウイルス分離・検出報告数は、A(H1)pdm09 245例、A(H3)型 347例、B型 17例となっており、今シーズンはA(H3)型が最も多いものの、前シーズン、前々シーズンにはほとんど分離・検出されていなかったA(H1)pdm09が約30%分離・検出されています。(平成26年1月24日現在)

京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



※平成21年/22年シーズンは、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

都道府県別定点当たり報告数の推移



シーズン別インフルエンザウイルス分離・検出状況(京都市及び全国)

